

平成 29 年度 ゴルフツーリズム施策の概要

1. 三重県の現状

- ・ 県内には平成 29 年 3 月現在 69 のゴルフ場がある（全国：約 2,300）。
- ・ 中部国際空港開港と同時にインバウンドのゴルフツーリズムに取り組んできた津市内にある白山開発株式会社（ココパリゾートクラブ）を中心に、みえゴルフツーリズム推進協会において国内外のプロモーションや招請事業の受入等を行っている。
- ・ 東アジア市場からは、津市内のゴルフ場を中心に年間 2 万人前後のゴルファーの受入を行っている。

2. 三重県の対応の方向性

- ・ 東京五輪の前年である 2019 年（平成 31 年）を一定のゴールに、民間事業者の主体的な取組によるみえゴルフツーリズムの普及を目指す。
- ・ 三重県として先行者利益を先々まで確保するため、日本初開催となる日本ゴルフツーリズムコンベンションの成功に向けて、国外での PR 継続、国内では競合地域との連携や DMC（ランドオペレーター）の育成に取り組む。
- ・ MOU 締結市場との関係強化を図ることで得られるアドヴァンテージを最大限活用する。

3. ターゲット

- ・ 海外のゴルフ関係ツアーオペレーター及びメディア
- ・ EGA（タイ）など特定市場のゴルフコミュニティ
- ・ 国内ゴルフ業界、国内旅行業界
- ・ 国際ゴルフツアーオペレーター協会(IAGTO)

4. 具体的な対応

- ・ 平成 28 年度同様に全市場をターゲットとする商談会出展、招請事業の実施などを中心に取り組む。（すでに商流のある東アジア 4 市場については、平成 28 年度から民間プロモーションに一本化。）
- ・ DMC（ランドオペレーター）の発掘、育成、自立を全面的にサポート。
- ・ タイとの MOU を活用した東南アジアにおける三重県の知名度向上に取り組むとともに、東南アジアに次ぐ MOU 締結市場及び対象を探る。
- ・ ゴルフ交流を通じ、海外ゴルファーの三重県に対する好感度向上を図るとともに、県内外ゴルフ場との連携拡大に取り組む。